

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鉦研工業株式会社 伊勢原新工場建設プロジェクト	階数	地上2F
建設地	伊勢原市鈴川54番の一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2022年3月4日
敷地面積	8,543 m ²	作成者	鹿島建設株式会社
建築面積	5,067 m ²	確認日	2022年3月4日
延床面積	5,677 m ²	確認者	鹿島建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	伊勢原市内に建設される2階建ての工場である。敷地周辺に配慮し、敷地境界沿いは全面的に緑化を行っている。節水器具を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮した建物である。	その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・高い階高の確保し、対応性・更新性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・空地部分を積極的に緑化し、生物環境の保全に配慮している。 ・燃焼設備を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用により、水資源保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。 ・屋外サイン照明を設置しない等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される